

施設統合環境制御装置の農家実証試験を開始しました。

令和元年9月19日から、鹿屋市吾平町の施設ピーマン生産者3名の各ハウスで、「統合環境制御装置」の実証試験を開始しました。

導入した装置は、ハウス内の温度や湿度、二酸化炭素濃度など6種類の項目を数値化することができ、これまで経験と勘に頼ってきた栽培管理から、ハウス内の環境を数値データで確認でき、最適な環境を維持できることから品質の向上が期待されます。

今後、数年間のデータを蓄積することにより、品質と生産性の向上を目指します。

